

○ループリックを用いた教員用の評価基準例

	小数の乗法・除法の計算	数値を根拠にした比較と提案	解決方法の検証・見直し
A	小数の除法を正しく用いて、ミッション1の数値を正確に算出している。さらに、小数の乗法を正しく用いて、ミッション2で3店舗全ての数値を正確に算出している。	3店舗を比較し、「ショップCの実質価格はショップAの実質価格より36円安い」などの具体的な差を示して、実質価格が一番安い店を提案している。	「 $200 \div 0.16 = 1250$ 」について、「 $1250 \times 0.16 = 200$ 」といった形で計算が合うか確認するなど、見直しの跡が紙面に見える。
B	小数の除法を正しく用いて、ミッション1の数値を正確に算出している。さらに、小数の乗法を正しく用いて、ミッション2で3店舗のうち2店舗の数値を正確に算出している。	3店舗の実質価格を比較し、算出した数値を根拠に、一番安い店を提案している。	解き終えた後、計算の誤りや単位の書き漏らしがないかを見直している。
C	ミッション1の数値を正確に算出していない。または、ミッション2で3店舗のうち正確に算出できたものが1店舗以下である。	数値だけを示し、提案をしていない。	見直した形跡が全く見られない。

B 評価模範解答例

【ミッション1】

ショップAでは、販売価格の0.16倍のポイントがもらえるので、

$$200 \div 0.16 = 1250 \quad \text{答え：1250円}$$

【ミッション2】

	ショップA	ショップB	ショップC
多機能ペンの販売価格(円)	1500	1300	1600
購入したときにもらえるポイント	240	234	576
初回購入特典ポイント	200		
実質価格(円)	1060	1066	1024

○ショップA

購入したときにもらえるポイントは

$$1500 \times 0.16 = 240 \text{ ポイント}$$

実質価格は

$$1500 - (240 + 200) = 1060 \text{ 円}$$

○ショップB

購入したときにもらえるポイントは

$$1300 \times (0.08 + 0.1) = 234 \text{ ポイント}$$

実質価格は

$$1300 - 234 = 1066 \text{ 円}$$

○ショップC

購入したときにもらえるポイントは

$$1600 \times (0.12 \times 3) = 576 \text{ ポイント}$$

実質価格は

$$1600 - 576 = 1024 \text{ 円}$$

【ミッション3】

販売価格はショップBが一番安く、ショップCが一番高いが、実質価格はショップCが一番安いことから、販売価格が一番高くても、もらえるポイントを考えるとショップCがおすすめである。